

システムブックの作り方

「システムテンプレート」を利用して開発を便利に

Excel リボン-「StiLL」上にある「システムテンプレート」を使い、StiLLプログラムの開発をスタートしましょう。あらかじめ、プログラムの流れを記述する箇所や、プログラム作成エリアが用意されています。

i

ii

iii

システムテンプレート (作成/挿入)

プログラムシート I

先頭シート名 Pシート1

新規ブック

表示ブックに挿入

キャンセル

- i. リボン上の「システムテンプレート」をクリックします。
- ii. 開発シート「プログラムシート I」を選択し、OKへ進みます。
- iii. 必要に応じて[先頭シート名]、挿入位置(新規ブックへまたは表示ブック)を選択するとプログラム開発用のシートが挿入されます

システムテンプレートの使い方

- ① プログラムの「流れ・説明」を記述します
- ② 縦にボタンを配置していき、StiLLプログラムを作成します
- ③ サンプルのStiLLプログラム画像が挿入されます。不要になったら削除ください。

① プログラムの「流れ・説明」を記述します

② 縦にボタンを配置していき、StiLLプログラムを作成します

③ サンプルのStiLLプログラム画像が挿入されます。不要になったら削除ください。

豊富に用意された「システムテンプレート」を活用

システムテンプレートは[業務メニュー]として利用できるものなど、様々な種類が用意されています。利用方法が記載された「ガイド」シートも追加されますので、こちらをご参照の上、ご活用ください。

